

事務事業名	トンネル修繕事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課	
総合計画体系的	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	維持管理G	課長名	小川 浩平
	施策名	(12)生活道路の整備	担当者名	佐藤 保興	電話番号	0854-40-1061
	目的	対 A)市民(道路利用者) B)生活道路(市道)	意図	市内を安全に移動できる。	(内線)	3732
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理	予算科目	会計 014002 大事業名 010008 中事業名	道路橋梁総務管理事業 トンネル修繕事業	

1 現状把握[DO]

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (26年度~)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 平成25年度に実施したトンネル点検結果に基づく修繕。 市道トンネル2施設(吉田町) ・望頂トンネル ・芦原トンネル

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・望頂トンネル照明修繕工事	27年度計画(27年度に計画する主な活動) ・平成27年度事業なし ・実施計画に計上し、計画的な修繕を行う。			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
ア	トンネル調査解析数(委託)	箇所	0	1	0	0
イ	トンネル本体修繕	箇所	0	0	0	0
ウ	トンネル附属物修繕	箇所	0	0	1	0
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	①生活道路の利用者 ②生活道路	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	40,548	40,055	39,472	39,458
		イ	市道延長	km	1,151	1,157	1,158	1,159
		ウ	市道のトンネル数	箇所	2	2	2	2
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)		
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②適正に維持管理する	ア	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	56.9	55.4	70.8	56.0	
	イ	生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	72.5	72.9	58.0	72.0	
	ウ	修繕を行ったトンネル数	箇所	0	0	1	0	

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
・望頂トンネル(吉田町)照明修繕工事 5,007千円 照明20個取り換え	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			5,007
	事業費計(A)	千円			5,007	
	人件費	正規職員従事人数	人			3
	延べ業務時間	時間			40	
	人件費計(B)	千円			156	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			5,163	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成24年12月に発生した笹子トンネル天井板落下事故を受けて、平成25年度に市道トンネルについて緊急点検を実施した結果、照明20個について速やかな修繕が必要であったため、修繕を行った。 ・道路法等の改正により今後は、5年に1回の点検が必要となる。	・平成25年度に実施した点検結果に基づき、計画的な修繕又は長寿命化を行うことができる。 ・計画的な修繕は財政支出を平準化することができる。	・道路管理者として、市道トンネルの点検結果に基づき修繕が必要と判断した。

事務事業名	トンネル修繕事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検結果に基づき優先度評価を行い、修繕を行ったもので計画的であり向上の余地はない。</li> <li>予防的な修繕により、将来的な経費削減を行うものであり成果は最大である。</li> </ul>	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道トンネルの安全性が保たれなくなる。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道トンネル独自の事業であり類似事業がない。</li> </ul>		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検結果に基づき詳細調査や設計を行い、修繕計画に基づく予防的な修繕は、将来的な経費削減を行うものであり、削減余地はない。</li> <li>予防的な修繕により、将来的な経費削減を行うものであり成果は最大である。</li> </ul>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に工事発注を行っており、これ以上の人件費削減余地はない。</li> </ul>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が市内を安全で迅速に移動できるようにするものであり、公平・公正である。</li> </ul>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検結果に基づき詳細調査や設計を行い、修繕計画を策定する。予防的な修繕により、将来的な経費削減を行うものであり、成果は最大である。</li> <li>点検費用については、5年に1回となるため増加する。</li> <li>市道トンネルの安全性を保つため、早期の修繕に着手した。</li> </ul>		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上		●																		
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路法等の一部改正により、今後は5年に1回のトンネル点検が必要となり、その結果に基づく計画的な修繕は必須である。</li> <li>修繕を行うことでコストは増加するが、長寿命化に繋がるなどの成果は向上するため、修繕計画に基づく定期的な修繕を行うことで、将来的な経費を削減できる。</li> </ul>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			